



NEW

子どもたちの真宗本廟奉仕!

これまで、毎年夏に期間を設定し「真宗本廟子ども奉仕団」を開催してきましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況から、2020年・2021年は止む無く中止しました。

そこで、新型コロナウイルス感染症の感染収束が見通せるまで、日曜学校や子ども会などを単位とした小人数での真宗本廟奉仕を呼びかけ、「子どもたちの真宗本廟奉仕の促進に向けた取り組み」として、テーマ「真宗本廟（東本願寺）での思い出づくり」のもと実施してまいりたいと考えております。

つきましては、春夏秋冬一年間を通して、子どもたちの本廟奉仕を募集いたしますので、教区や組はもとより、寺院（教会）や日曜学校・子ども会等で、ぜひご計画いただけますようお願いいたします。



1 会場

真宗本廟（東本願寺）同朋会館または研修道場

2 趣旨

真宗本廟（東本願寺）に集い、親鸞聖人に会う。

3 内容

- ①お参りをする ②お話を聞く
- ③お掃除をする ④真宗本廟で遊ぶ

4 対象

年齢制限無し
(但し、未就学児参加の場合等は、必ず保護者同伴のこと)

5 人数

1団体5名以上

6 申込方法

- ①研修部に電話いただくか、または同朋会館ホームページにある申込フォームからご予約ください。
- ②お申し込み受付後、「真宗本廟奉仕申込書」をお送りしますので、必要事項をご記入の上、上山30日前までに研修部へご提出ください。

7 日程

充分なるご相談の上、日程を作成し、子どもたちをお迎えます。

8 冥加金

2泊3日 ・9,000円(小中学生)・13,500円(学生・高校生)
・18,000円(大人)
米2kg(1升4合)または米代1,300円

1泊2日 ・6,500円(小中学生)・9,500円(学生・高校生)
・13,000円(大人)
米1.2kg(8合)または米代800円

※未就学児は、冥加金・米代不要。
※「団体補助」及び「旅費補助」有り(詳しくはお問い合わせください)

9 帰敬式

期間中に受式いただけます。ぜひ奉仕上山の機会に受式いただけますようお願いください。(礼金<20歳以下>5,000円)

10 その他

- ①研修部常勤補導及び児童教化に携わる嘱託補導が担当します。
- ②教導の担当はありません。

お友達を誘って真宗本廟奉仕へ

真宗本廟奉仕 ご案内カタログ

チラシ

奉仕団のお申し込みについて

申込方法

研修部に電話いただくか、または同朋会館ホームページにある申込フォームからご予約ください。
お申し込み受付後、「真宗本廟奉仕申込書」をお送りしますので、必要事項をご記入の上、上山30日前までに研修部へご提出ください。
※様々な企画内容についてお問い合わせする必要がありますので、できる限り事前に研修部にご相談くださいますようお願いいたします。

同朋会館冥加金(参加費)

種別	大人 (15歳以上) ※学生以外	学生 高校生	小中学生	団体園児	未就学児
2泊3日(最大7食付)	18,000円	13,500円	9,000円	5,000円	—
1泊2日(最大4食付)	13,000円	9,500円	6,500円	3,500円	

※上記冥加金の他に、2泊3日の場合は米2Kg(1升4合)または米代1,300円、1泊2日の場合は米1.2Kg(8合)または米代800円が必要です。
※御日跡参拝等は、別途実費(拝観料・移動に係る費用等)が必要です。

帰敬式を受式される方 礼金10,000円(20歳以下は5,000円)

注意事項

- ※1 継続的な本廟奉仕上山を願い、団体補助(5名以上)や旅費補助(一部地域を除く)を実施しています。詳しくはお問い合わせください。
- ※2 新型コロナウイルス感染症感染拡大の状況によっては、やむを得ず定員及び日程を変更する場合があります。また、状況に応じて入館をお控えいただく場合もありますのであらかじめご了承ください。
- ※3 感染予防対策として「真宗本廟奉仕施設(同朋会館・研修道場・和敬堂)における新型コロナウイルス感染症予防ガイドライン」を同朋会館ホームページに掲載していますので、事前にご一読ください。

お問い合わせ先 真宗大谷派宗務所(東本願寺) 研修部
〒600-8308 京都市下京区七条通新町東入ル新シ町121(東本願寺境内南側)
TEL: 075-371-9185 FAX: 075-371-9201
メール: dobokaikan@higashihonganji.or.jp

京都 東本願寺 とうほうかいかん
同朋会館
HP: https://dobokaikan.jp/



座談会



「真宗本廟奉仕」は、宗祖親鸞聖人がお亡くなりになった後、お念仏のみ教えをうけた御門弟方が、在りし日の聖人の御恩に報いるために、御堂を建て影像を安置し、折々に集い、仏法に遇い得た喜びを確かめ合われたのが始まりといえます。

そして聖人亡き後、七百六十年経った今も、聖人を偲び御真影の前にぬかずき、お念仏の教えを確かめ合う集いが続けられているのです。それが「真宗本廟奉仕」です。

そのように、「真宗本廟奉仕」は、親鸞聖人をたずねて来られた御門弟・御門徒方の聞法求道の歴史に参加することなのです。

これまでも、お寺での奉仕団をはじめ、推進員の誕生を願った後期教習奉仕団、組門徒会奉仕団や推進員引率による奉仕団など、たくさんの方々のご上山くださいました。

そこで、これらの奉仕団に加え、皆様方に様々な企画をしていただき、一人でも多くの方の奉仕上山を願って、この「ご案内カタログチラシ」を作成しました。

どんな奉仕団にしようかと皆で話し合って企画いただき、ぜひ真宗本廟奉仕にお越しください。

清掃奉仕



お勤め



ご法話



諸殿拝観



京都 東本願寺 とうほうかいかん
同朋会館

いろいろな奉仕団を企画して同朋会館へ！

お友達を誘って…お寺や組などで企画してください！

真宗本廟での法要などに参加する奉仕団

法要参拝奉仕団

真宗本廟報恩講・春の法要・全戦没者追弔法会・彼岸会など、真宗本廟におけるさまざまな法要に参加することを日程の中心にすえた奉仕団

大谷祖廟納骨奉仕団

宗祖親鸞聖人の御廟所である大谷祖廟に亡き人の御納骨を行い、そのことを縁とし、生死する「いのち」について考えていく奉仕団



帰敬式受式奉仕団

真宗本廟での帰敬式（おかみそり）を上山の目的とし、帰敬式の願いと自身の法名の意味を学び、仏弟子としての歩みだしの決意を確かめる奉仕団

真宗本廟取骨奉仕団

真宗門徒にとってかけがえのない帰依処である真宗本廟・御影堂に大切な人の御遺骨を納めることを機縁とし、共にお念仏の教えに出遇っていく奉仕団

その他「蓮如上人御影吉崎別院御下向式奉仕団」や「宗祖御命日参拝奉仕団」など、様々に企画ください。

さまざまな作業をする奉仕団



真宗基礎講座奉仕団

“長い間、お寺の法座に身を運んでいるけれど、真宗の教えがうなずけない”そんなお友達同志で真宗の教えの基礎を学ぶ奉仕団

俳壇奉仕団

俳句づくりをとおして宗祖の恩徳を讃嘆し、句友が法友となることをも願い、これまで聞法にご縁のなかった方々にも広く念仏のご縁をひろく奉仕団

匠の技を体験する奉仕団

宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌の特別記念事業として行われた御影堂等の御修復。御修復での匠の技を体験し本廟創立の願いにふれる奉仕団

仏教讃歌練習奉仕団

真宗本廟春の法要中の音楽法要をはじめ、各地で行われている仏教讃歌による法要。仏教讃歌の練習を行い、その歌の意味・願いを確かめる奉仕団



その他「境内写生奉仕団」や「立花習得奉仕団」など、様々に企画ください。

こんなことあんなことを学ぶ奉仕団

お勤めお稽古奉仕団

毎朝夕にお勤めする正信偈。うまくあげられないと思っている方が集い、お勤めのお稽古をすることをとおして正信偈のお心に会い直す奉仕団

正信偈に学ぶ奉仕団

“毎日お勤めする正信偈ってどんなことが書かれているの？”正信偈の書写も行いながら、正信偈の意味や内容について学んでいく奉仕団

お内仏に学ぶ奉仕団

「お仏壇をなぜお内仏というのかな？」「ご本尊の裏にある“方便法身の尊形”ってどんな意味？」等、お内仏に関する素朴な疑問を学ぶ奉仕団



その他「御文に学ぶ奉仕団」や「お聖教に学ぶ奉仕団」など、様々に企画ください。

清掃などを中心とした奉仕団

一日お掃除奉仕団

真宗本廟内の清掃が日程の一部である現在の本廟奉仕。そこで、本廟奉仕がはじまった頃のように昼は清掃奉仕、夜は聞法座談を行う奉仕団

仏具おみがき奉仕団

真宗本廟内には、阿弥陀堂・御影堂などに多くの仏具があります。昼は、それら各所の仏具をお磨きし、夜は聞法座談を行う奉仕団

障子張り奉仕団

昼は、阿弥陀堂・御影堂等の真宗本廟内各所にある障子の張り替えを行い、夜には、お念仏の教えを聞き、互いに語り合う奉仕団

両堂拭き掃除奉仕団

昼は、阿弥陀堂・御影堂・御影堂門の拭き掃除を行い、夜は、真宗の教えを聞き、お念仏の教えを確かめ合う奉仕団



その他「大谷祖廟参拝・清掃奉仕団」や「御影堂門・諸殿清掃奉仕団」など、様々に企画ください。

いろいろな同窓会の奉仕団

教師修練同窓会奉仕団

「求道者たれ、ともに求道者たらん」—宗祖親鸞聖人に会う—という願いのもとに集った教師修練。教師となった今、互いに歩みを確かめ合う奉仕団

住職修習同窓会奉仕団

住職になるために受講した住職修習で、共に同じ期間に受講した方が誘い合い、当時の学びを振り返り、現在の歩みを確かめ合う奉仕団



大学ゼミ・サークル同窓会奉仕団

大学のゼミ・サークルで共に汗を流した仲間が真宗本廟に集い、当時の思い出を語り合う中で、真宗の教えを聞き話し合う奉仕団

大谷専修学院・真宗学院同窓会奉仕団

大谷専修学院や真宗学院で学んだ方が、当時の学院生を誘い合い、往時を振り返ると共に、現在の自身の歩みを確かめ合う奉仕団

その他、様々に同窓会の奉仕団を企画ください。

その他、あんなこんな奉仕団

女性住職・教会主管者奉仕団

現在全国に約200名いる女性住職・教会主管者。様々な課題や悩みを持ち寄り話し合う中で、更なる女性の宗教等への積極的な参画を目指す奉仕団

あらゆる差別問題を考える奉仕団

観經の「是施陀羅」問題をはじめ、部落差別の問題、女性差別の問題等あらゆる差別問題について、ゆっくりと語り合い共に学びを深める奉仕団



お悩み僧談奉仕団

生きにくい世の中にあって、様々な苦しみや悩みを抱えて生きている私たち。互いに悩みを話し合い、教導（僧侶）と一緒に考え、語り合う奉仕団

東西本願寺参拝奉仕団

真宗本廟の参拝・諸殿拝観はもとより、浄土真宗本願寺派の西本願寺への参拝・諸殿拝観をする中で、東西分派等の歴史などを学ぶ奉仕団

その他「親鸞聖人御旧跡参拝奉仕団」や「蓮如上人御旧跡参拝奉仕団」など、様々に企画ください。

新型コロナウイルス感染症の収束が未だ見えない中での「真宗本廟奉仕」

2年以上にわたる新型コロナウイルス感染症の蔓延により、全国の感染者数の推移と同様に奉仕団入館者数も上下するという状況が続いております。

そのような状況の中、同朋会館においては、「感染症予防ガイドライン」を設け感染症対策を実施していますが、更なる対策として、同朋会館全館の備品等に「光触媒の抗菌塗布」を行いました。感染症の収束が見えない中であって、少しでも安心してご上山いただけるようにとの願いからであります。

「宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要」をお迎えしようとする今、全国各地から、一人でも多くの有縁の方々が「真宗本廟奉仕」にお越しいただけることを願っております。



光触媒の抗菌塗布

「真宗本廟奉仕」近年の歴史

本廟奉仕は、1943(昭和18)年、“全住職は一生に一度は本廟奉仕へ”というスローガンのもと「本廟奉仕道場」の名で開設されました。当時は、6月から11月において10日間を15期間設定し、1期間30名として、各教区より住職を中心に招集しました。そして戦後、1947(昭和22)年に「本廟奉仕道場」は再開されます。その時は、“僧侶とも一度は祖影に奉仕いたしましょう”というスローガンを掲げ、開設期間は毎月1日から7日の一週間とし、広くご門徒の方々にも呼びかけるようになりました。その後、「本廟奉仕」の名で、1952(昭和27)年には5日間、1956(昭和31)年には4日間と期間が短縮されていきました。そして1959(昭和34)年には同朋会館が竣工し、「宗祖親鸞聖人七百回御遠忌法要」厳修の前年である1960(昭和35)年、本廟奉仕は同朋会館において2泊3日の日程で開設されることとなったのです。

